

和牛産肉能力直接検定成績

荷川取秀樹 金城寛信 菅 大助*

I 緒 言

当場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1996年4月から1997年3月までに和牛産肉能力検定（直接法）を終了した牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛及び検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業に基づき、認定された雌牛に計画交配し、生産された子牛のうち、産子調査により選抜された12頭の雄子牛であった。

検定牛の父と母の組み合わせでは、田尻系×第7系桜系が6頭、第7系桜系×田尻系が2頭、気高系×田尻系2頭、気高系×第7系桜系1頭、第7系桜系×第7系桜系1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法¹⁾（直接法）により実施した。直接法とは、7から8カ月齢の雄子牛を単房式牛舎にて112日間飼養し、その期間濃厚飼料を朝夕2回の時間制限、粗飼料は乾草を不断給餌し、増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表-1 検定牛の概要

No	名 号	生年月日	血 統				生産地
			父	母	母方祖父	母方祖母	
1	若美土井	95. 5. 30	安森土井	わかふじ2	糸富士	晴美	石垣市
2	良正	95. 7. 20	中部6	よしお	安波土井	糸富士	伊江村
3	糸文土井	95. 7. 12	安森土井	ふみざくら	糸富士	第7系桜	石垣市
4	紋平	95. 6. 27	紋次郎	のりみの2	北国7の8	第20平茂	伊江村
5	和晴	95. 9. 30	晴姫	かずえ	安波土井	糸富士	上野村
6	土井晴	95. 9. 5	晴姫	しもげん	安波土井	一福	平良市
7	富士桜	95. 8. 18	晴姫	ふじみ	富士晴	安波土井	平良市
8	作蔵	95. 11. 1	紋次郎	すえひろ63	糸福	平茂金	伊江村
9	紋福	95. 10. 30	紋次郎	あらふく10	糸富士	茂牡丹	今帰仁村
10	美里	96. 5. 14	金鶴	みか	北国7の8	晴姫	城辺町
11	富士国	96. 4. 19	北国7の8	ふじよし	富士晴	福金波	石垣市
12	北忠	96. 4. 12	北国7の8	ふくこ	忠福	第20平茂	石垣市

* 現琉球大学

Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は、表-2及び表-3に示すとおりであった。各調査項目の平均値は、開始時日齢231日、開始時体重248kg、終了時体重377kg、180日補正体重202.1kg、365日補正体重402.8kg、DG1.15kg、粗飼料摂取率44%であった。各飼料要求率は、濃厚飼料3.69、粗飼料2.97、DCP0.50、TDN3.88であった。

DGについては、作蔵1.48kg、和晴1.25kg、紋福、北忠1.21kgの4頭が優れていた。

365日補正体重については、作蔵の494kgがもっとも優れており、紋平の346kgが最も劣っていた。

飼料要求率（TDN）については、北忠の3.33が最も優れ、4.34の富士桜が最も劣っていた。

11頭の平均値を1993年度の全国平均値²⁾と比較すると、DGと365日補正体重は劣っていたが、飼料要求率（DCP、TDN）は優れていた。

表-2 検 定 成 績

No	名 号	開始日齢	体 重 (kg)				DG (kg)
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	若美土井	238	236	367	185.8	384.6	1.17
2	良 正	229	267	386	216.3	411.4	1.06
3	糸文土井	237	232	370	183.7	389.7	1.23
4	紋 平	252	230	345	174.9	346.0	1.03
5	和 晴	213	270	410	232.8	460.0	1.25
6	土井晴	238	254	380	199.4	397.0	1.13
7	富士桜	256	293	412	216.9	408.8	1.06
8	作 蔵	223	284	450	237.0	494.0	1.48
9	紋 福	225	232	367	197.6	400.9	1.21
10	美 里	202	230	348	215.2	401.7	1.05
11	富 士 国	227	220	324	180.7	348.0	0.92
12	北 忠	234	232	367	184.9	390.0	1.21
	平均 値	231	248	377	202.1	402.8	1.15
	標 準 偏 差	15	24	34	21.1	41.6	0.14
	全国平均値	—	—	—	—	424.1	1.20

注) 全国平均値は1993年度の平均値。

表-3 検定成績

No.	名 号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点	備 考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	若美土井	43	3.82	2.81	0.51	3.91	81.7	
2	良 正	44	3.78	2.99	0.51	3.96	81.3	
3	糸文土井	46	3.58	3.01	0.49	3.82	82.2	
4	紋 平	48	3.57	3.23	0.50	3.90	81.0	
5	和 晴	42	3.82	2.77	0.51	3.90	82.8	◎
6	土井晴	37	4.10	2.37	0.52	3.94	82.4	
7	富士桜	43	4.18	3.22	0.56	4.34	81.7	
8	作 蔵	43	3.30	2.48	0.44	3.40	83.5	◎
9	紋 福	41	3.77	2.65	0.50	3.81	82.7	◎
10	美 里	50	3.50	3.46	0.50	3.94	82.6	
11	富士国	51	3.75	3.90	0.55	4.30	80.8	
12	北 忠	47	3.09	2.69	0.43	3.33	82.1	◎
	平均 値	44	3.69	2.97	0.50	3.88	82.1	
	標準 偏差	4.1	0.31	0.45	0.03	0.30		
	全国 平均	—	—	—	0.59	4.52		

注) 全国平均値は1993年度の平均値

◎は選抜牛

これらの検定牛の中から母牛の育種価及び選抜基準³⁾(DG1.20以上または365日補正体重430kg以上)に基づき和晴、作蔵、紋福、北忠の4頭を選抜した。

糸文土井に関しては、選抜基準値を満たしていたが、兄牛である文土井が先に選抜されていたため選抜されなかった。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 社団法人全国和牛登録協会、1994、和牛種雄牛産肉能力検定成績
- 3) 沖縄県農林水産部、1988、沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則

検定補助：平良樹史